



さいとう まもる 齊藤守 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

完成近い東関道谷津船橋インター

接続道路の渋滞懸念 県道の交通量調査実施



齊藤守 2月県議会予算委員会で道路問題などを質問する

船橋市選出の斉藤守県議(1期)は新年度の県当初予算案を審議する2月県議会の予算委員会で登壇、道路問題などについて県の施策を質問しました。教育問題に造詣が深い斉藤県議ですが、委員会では親学を取り上げ、親の学びの場の重要性を訴えました。質疑の模様を特集します。

2月県議会予算委員会 船橋市特集

齊藤議員 東関東自動車道の谷津船橋インターチェンジのトンネルが完成した。これによって来年5月ぐらいには開通するということが、今まで市川市の先の千鳥町インターで降りて、渋滞の中を船橋に来るしかなかっただけに、新しくインターができることを心から感謝する。しかしながら、この谷津船橋インターを下りた先につながるのが県道船橋我孫子線。この道路は途中までしか2車線になっていないので、今でも渋滞で、京葉道路までつながってしまうというのが現状だ。このままでは東関東上

車線化計画の具体化に向け、交通動向を把握するため、駿河台交差点など主要な交差点で交通量調査を実施する予定です。

再質問 齊藤議員 平成24年度から調査に入るとして理解して良いか。

道路整備課長 インターが平成25年に供用することから、その前の現状を踏まえた交通量を把握するため、平成24年度から交通量調査

都市再生機構の土地画整理事業

25年度で終了? 申入れを

齊藤議員 都市再生機構(UR)の土地画整理事業について。都市再生機構は平成25年度で区画整理事業から撤退するとされているが、区内で都市再生機構が行っている区画整理事業の状況はどうか。

都市整備局長 都市再生機構は、県内で八千代市をはじめ6市1町、7地区で土地画整理事業を実施しており、事業の進捗状況

は、平成23年度末でそれぞれ60パーセントから90パーセントの見込みとなっております。齊藤議員 それまでに県内全ての区画整理事業が終了するのか懸念されるが、国においては平成25年度で終わらせるという話について、現在どのような検討をしているのか。

都市整備局長 国においては、平成24年2月「都市再生機構の在り方に関する

調査会を設置し、業務の見直し、組織の分割・再編などについて検討しており、本年3月中には方向性をとりまとめ、夏までに結論を得ることとしております。齊藤議員 全国知事会などを通じてURや民主党に

を実施してまいります。齊藤議員 いろいろなかところから要望があると思うが、道路を拡張して交通の流れを良くするというのが経済の発展につながる。よろしくお願

業等については計画どおりきちんと新しい街づくりを完成させるよう申し入れをするべきと思うがどうか。知事 県としては、今後地元市町と連携し、都市再生機構が施行者として責任を持って、施行中の区画整理事業を終わらせるよう、働きかけてまいります。齊藤議員 区画整理事業が中途半端で終わられてはその後、地方自治体等が非常に迷惑を被る訳で、ぜひ強い申し入れをしてもらいたい。



谷津船橋インターチェンジの完成予想図

齊藤守県議プロフィール

- 略歴■
- 昭和51年3月 同志社大学法学部卒業
- 野中英二衆院議員秘書
- 船橋市PTA連合会会長
- 平成11年4月 船橋市議初当選(3期)
- 平成23年4月 千葉県議選初当選
- 現職■
- 県議会 文教常任委員会委員
- 船橋市サッカー協会会長

●地元船橋市と県政についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

齊藤守 県議事務所

船橋市市場5-1-21 (市場通り) 青山病院前
TEL.047-460-3110 FAX.047-460-0732

大切な「親としての学び」

親と子の絆、作る政策を



2月県議会予算委員会で答弁を聞く齊藤守県議

齊藤議員 親としての学び(親学)についてうかがう。私は3人の子供の父親としてPTA活動を10年ほどやってきた。その中で感じたのは、人が親となるためのまとまった勉強を何もしていない、ということだ。

科学的知見に立った親学の必要性を感じ、地方自治体が親学大学校のようなものを作って、母子手帳を受け取った時から、子供が中学を卒業するまで、子供の成長する過程に合わせて親も学び続ける、そのような学びの場を作ろうと市議会議員時代に主張した。

行政が家庭教育に口出しできないという理由で実現できなかったが、その後、教育基本法が改正されて、国及び地方公共団体は保護者に対する学習の機会、及び情報の提供その他、家庭教育を支援するために必要な施策を講じるように努めなければならないとされ、親の学びの場を行政が作っていく法的根拠ができた。

平成22年度には千葉県の教育を元気にする有識者会議の提言がまとめられ、親学を導入するなど、家庭教育を支援するとされた。しかしながら具体的な事業名の中に1行として親学という言葉がないのはなぜか。

教育長 親への学習機会の提供に関する規定が新たに教育基本法に盛り込まれ、本県でも教育振興基本計画に位置付け、親の学習機会の拡大に努めているところだ。

具体的には、「親学を「親としての学び」「親になる

ための学び」と捉え、親学を推進する「親力アップいきいき子育て広場」などの事業に積極的に取り組んでいるところだ。事業名は、事業の内容がわかりやすく、親しみやすい表現になるよう工夫しています。

齊藤議員 家庭教育では親の学びが重要だと思うがどうか。

教育長 教育基本法に、父母その他の保護者は、子どもの教育について第一義的責任を有すると規定され、昨今、核家族化や人間関係の希薄化が親の孤立化を招くなど、親としての在り方を学ぶ機会が減少しているという状況があり、親の学習機会の充実が極めて重要な課題と認識しています。

齊藤議員 重要だということだが、具体的にどのような取り組みをしているのか。

教育長 親の学びを教育振興基本計画に重要な施策として位置づけ、生活習慣の大切さなど子育てについて携帯電話でも学べるウェブサイトを開設したり、発達段階に応じてしつけの仕方などをわかりやすく学べるプログラムを開発し、幼稚園などでの親の学習を積極的に支援するなど、親の学びの充実に取り組んでいるところだ。

今後更に、生涯学習審議会での議論をいただきながら、施策の充実に努めてまいります。

齊藤議員 保育所においては、親の学びについて、

齊藤議員 早い段階から家庭教育が大切であり、幼児をもつ全ての親に対する親学を取り入れた学びを充実させるべきと思うがどうか。

齊藤議員 早い段階からの家庭教育が大切であり、幼児をもつ全ての親に対する親学を取り入れた学びを充実させるべきと思うがどうか。

齊藤議員 早い段階からの家庭教育が大切であり、幼児をもつ全ての親に対する親学を取り入れた学びを充実させるべきと思うがどうか。

齊藤議員 震災で絆の大切さを日本国民全員が認識した。その絆の大元は何かというと、やはり親と子の絆、これができてこそ地域や社会の絆、国を愛する心ができるのであって、一番最初の絆を作る事業をこれからの力を入れて行ってほしいと思う。

同じ年齢の子どもを対象にしている教育委員会、健康福祉部、総務部がプロジェクトを組んで、まとまった形での政策をつくってほしい。

親学の充実を 知事も後押し

知事 最近、教育現場において、モンスター・ペアレントなど、驚くようなできごとがあります。

私は、教育は子育てであると考えています。マニフェ

プロチームなどと交流

スポーツの力活用 地域の活力づくり

齊藤議員 スポーツ推進計画についてうかがう。スポーツ基本法が変わって、県もスポーツ振興条例をつくり、第11次の千葉県スポーツ推進計画を作成すると

聞いています。この作成の狙いなどを聞かせてほしい。

教育長 策定中の計画は、「生涯スポーツの推進」など5つの柱を掲げまして、本県の今後の5年間を見通

した、体育・スポーツ推進の方向性を示すものでございます。「全ての県民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合いながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合うスポーツ立県ちば」の実現をねらいとしております。

齊藤議員 この計画の特徴となる取組みは何か。

教育長 1点目としまし

もうとするものでございます。

県内にも豊富な人材 健全な成長に活用を

齊藤議員 千葉県にもさまざまなプロスポーツの選手がいっぱいいるし、船橋においても新しくプロバスケのチームができたわけで、そうした豊富な人材を使って、ぜひ子どもたちにスポーツを通して健全な成長ができるように運営してほしい。